

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成18年度病害虫発生予察情報について

このことについて、発生予察注意報第2号（早期水稲の斑点米カメムシ類）を発表したので送付します。

## 病害虫発生予察 注意報第2号

- 1 農作物名 早期水稲
- 2 病害虫名 斑点米カメムシ類（クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、シラホシカメムシ、アカスジカスミカメ 等）
- 3 予報内容
  - (1) 発生地域 早期水稲地帯
  - (2) 発生時期 出穂期以降
  - (3) 発生量 多
- 4 注意報発令の根拠
  - (1) 6月6～8日に行った県内各地の早期水稲周辺のイタリアンライグラスや畦畔などのイネ科雑草地におけるすくい取り調査の結果は、次のとおりであった。
    - ア カメムシ類の発生か所率は、96.4%（過去5か年の平均：68.0%）と過去5か年の平均より高かった。
    - イ すくい取り調査（捕虫網20回振り）での平均捕獲虫数は、25.7頭（過去5か年の平均：13.3頭）と過去5か年の平均より多かった。
    - ウ 県全体の発生程度別割合は、中発生以上の割合が50.0%であった。
    - エ カメムシの種類別では、アカスジカスミカメ、クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、シラホシカメムシの順で発生が多かった。
  - (2) カメムシによる斑点米の混入は、米の検査等級格下げにつながり、特に早期水稲では品質低下の主要な要因となっている。
- 5 防除上注意すべき事項
  - (1) 水田周辺の雑草地などが飛来源となるので、畦畔雑草の草払いなどのほ場管理に努める。
  - (2) 防除効果を高めるため、水田周辺の雑草地を含めた広域的一斉防除に努める。
  - (3) 出穂の早いほ場では集中的に飛来する恐れがあるので、特に注意する。
  - (4) 航空防除等により広域に一斉防除が行われた地域は防除の必要はないが、乳熟期以降の発生に注意し、発生が多い場合は補完防除を行う。
  - (5) 一般防除地域については穂揃期に防除を行い、その後の発生状況にも十分注意する。なお、防除後も発生が多い場合は、穂揃期とその7～10日後の2回散布とする。
  - (6) 防除は、農薬の使用基準を遵守し、時期を失しないよう行う。

(参考資料)

**第1表 早期水稲出穂前の周辺イネ科雑草地調査における斑点米カメムシ類の発生状況（6月上旬）**

調査年	2000	2001	2002	2003	2005	本年	平成 <sup>2)</sup>
調査か所数	88	77	88	69	56	56	76
発生か所率(%) <sup>1)</sup>	58.0	64.9	67.0	53.6	96.4	96.4	68.0

※ 1) 発生か所率(%) =  $\frac{\text{発生か所数}}{\text{調査か所数}} \times 100$

2) 平成は過去5か年(2000～2005)の平均値。ただし、2004年のデータは欠測。

**第2表 早期水稲出穂前の周辺イネ科雑草地調査における斑点米カメムシ類の地域別、発生程度別割合（2006.6.6～8調査）**

地域	調査か所数	発生か所率(%)	発生程度別割合(%)				
			甚	多	中	少	無
南薩	28	100.0	3.6	10.7	28.6	57.1	0
大隅	28	92.9	21.4	10.7	25.0	35.7	7.1
県全体	56	96.4	12.5	10.7	26.8	46.4	3.6

※ 発生程度別基準（捕虫網すくい取り20回振り虫数）

調査場所	発生程度				
	甚	多	中	少	無
雑草地等	61頭以上	31～60頭	11～30頭	1～10頭	0

**第3表 早期水稲出穂前の周辺イネ科雑草地調査における斑点米カメムシ類の種類別、地域別発生状況（2006.6.6～8調査）**

地域	調査か所数	項目	クモハリ	ホソハリ	ミミアオ	シラホシ	イネ	アカスジ	合計
			カメムシ	カメムシ	カメムシ	カメムシ	カメムシ	カスミカメ	
南薩	28	平均捕獲虫数 <sup>1)</sup>	0.1	4.0	0.0	1.0	0	12.7	17.7
		発生か所率(%) <sup>2)</sup>	7.1	78.6	3.6	50.0	0	75.0	100
大隅	28	平均捕獲虫数 <sup>1)</sup>	6.1	1.5	0	0.2	0	26.0	33.8
		発生か所率(%) <sup>2)</sup>	42.9	53.6	0	10.7	0	89.3	92.9
県全体	56	平均捕獲虫数 <sup>1)</sup>	3.1	2.7	0.0	0.6	0	19.3	25.7
		種別構成比(%) <sup>3)</sup>	11.9	10.6	0.0	2.2	0	75.2	100
		発生か所率(%) <sup>2)</sup>	12.5	71.4	1.8	30.4	0	82.1	96.4
		平均捕獲虫数過去5か年平均 <sup>4)</sup>	1.2	1.5	0.1	0.6	0.0	9.9	13.3
		平均捕獲虫数(2005年)	1.0	3.9	0	2.5	0.0	15.8	23.2
		平均捕獲虫数(2003年)	0.1	0.5	0.1	0.2	0	13.8	14.6
		平均捕獲虫数(2002年)	2.6	0.9	0.2	0.1	0	7.3	11.1
平均捕獲虫数(2001年)	1.3	1.1	0	0.3	0.1	7.2	9.9		
平均捕獲虫数(2000年)	0.9	1.1	0.3	0.1	0	5.4	7.8		

※ 1) 平均捕獲虫数 =  $\frac{\text{総捕獲虫数}}{\text{調査か所数}}$  2) 発生か所率(%) =  $\frac{\text{発生か所数}}{\text{調査か所数}} \times 100$  3) 種別構成比(%) =  $\frac{\text{捕獲虫数}}{\text{総捕獲虫数}} \times 100$

4) 過去5か年(2000～2005)の平均値。ただし、2004年のデータは欠測。